

変更の概要

変更方針

○ ミサイル攻撃を現実的な脅威と捉え、**ミサイル攻撃への対処を強化**

- ・ 想定する事態として、大規模テロ等に加えて弾道ミサイル攻撃を重視
- ・ ミサイル攻撃への対応として、都が進めているハード・ソフト両面からの取組を充実

○ 旧計画で充実させている大規模テロへの対処と合わせて、**より実効性の高い計画**に変更

- ・ 事態等への対処を理解した後に、平素の備えの準備態勢を記載することにより対処能力を向上
- ・ 訓練の成果を踏まえ、関係機関等の役割を時系列で整理

主な変更点

旧（令和元年7月変更）

章	項目	内容
1	計画の基本	目的・根拠等
2	想定する武力攻撃事態	オリンピック対象の大規模テロに特化
3	平素からの備え	体制、連携、避難、救援、災害の最小化で記述
4	武力攻撃事態等の対処	避難準備、避難、避難生活、復帰の段階で記述
5	島しょ避難	全島避難等
6	他県受入れ	役割分担
7	大規模なテロ等の対処	初動対応、発生時対処等

新（令和7年変更）

章	項目	主な変更内容
1	計画の基本	□ 時点修正
2	想定する武力攻撃事態	□ <u>事態類型の順序を変更</u> （①弾道ミサイル攻撃、②ゲリラ・特殊部隊による攻撃、③航空攻撃、④着上陸侵攻の順） □ 大規模テロに限らず、現実的な脅威の <u>留意点を充実</u>
3	武力攻撃事態等の対処	□ <u>国・都・区市町村・関係機関等及び住民の役割を警報、避難、救援、災害への対処ごとに整理</u> □ 旧計画第4～6章を整理統合
4	復旧等	□ 旧計画第4章を分割整理
5	大規模なテロ等の対処	□ 事態認定前を含む発生時の対処に特化
6	平素からの備え	□ <u>ミサイル攻撃への備えの充実</u> （緊急一時避難施設の指定の推進、避難行動の普及啓発、実践的な訓練の重視）